

《公開用感染制御相談事例集(Q&A)》

相談事例No. 23

区分 標準予防策

【質問】

おむつ交換の際、患者ごとの手指衛生を指導していますが、手袋を2重にして、上の手袋のみを交換しており、手指衛生の回数が少ないように感じています。どのように工夫すればよいでしょうか？

【回答】

患者に処置を行う際、別の患者に触れるときはもちろん、同一の患者であっても処置ごとに手袋を外して手指衛生を行い、清潔な手袋を装着することが大原則です。

手袋は手指衛生の代用にはなりません。また、手（または下の手袋）が汚染したままですと、新しい手袋を取り出し装着する際、その手袋の表面を汚染してしまう可能性があります。さらに、2重手袋では、上の手袋を外す際に下の手袋を汚染したり、上の手袋にピンホールがあつて下の手袋を汚染することもあります。

装着する手袋は1枚とし、おむつを取り除く際に一緒に廃棄します。一人のおむつ交換終了時に手指衛生を行ってから、次の患者のおむつ交換をするようにされると、おのずと手指衛生の回数が増加するものと考えられます。

ただし、処置や看護ケアの中には同一患者の大量の体液や排泄物を取り扱う、あるいは手袋を外した後に不意に再び体液に触れる可能性が生じることがあります。そのような時に限って、手袋を2重に装着して上の手袋のみ交換するという方法を取り入れている医療

機関もあります。例として、下痢のひどい患者で、おむつを取り除いた後、新しいおむつを装着する時に排便があり、手を汚染することが予想される場合です。上の手袋は、取り除いたおむつとともに廃棄し、下の手袋は新しいおむつを装着した後、その場で外し、廃棄します。汚染がなくても、他の患者のおむつ交換には使用してはいけません。